

助成事業実施 団体名	アルカディア街道 I B 倶楽部		
実施事業名	アルカディア街道 国際交流会		
助成事業区分	※該当する事業名を○で囲んでください。 ○協働助成事業（一般型） 【県政課題名：】 協働助成事業（テーマ希望型）【テーマ名：】 団体支援助成事業		
団体の所在 市町村名	山形市東原 4-11-9	事業費及び 助成額	事業費 400,000円 助成額 400,000円

■ 事業目的

「山形の魅力」を捉えていない外国人が多いことに気付き、イザベラ・バードが旅した山形路（アルカディア街道）を外国人の方に散策してもらい、地域資源（食、景観、歴史的建造物など）の活用の取り組みをしている方々と交流し、そのことによって「やまがたのよさ」をより実感していただき、「やまがたの良さ」を友人や家族に発信してもらい、そして、街道の地域の方々に外国人の受入れに関心を持ってもらうことを目的とする。

■ 実施内容

実施日：9月27日（日）

参加者：54名

留学生、一般、学生、スタッフ

協働：アルカディア街道 I B 倶楽部
山形大学地域教育文化学部

協力：手ノ子地区協議会宇津峠部会
黒沢峠敷石道保存会

NPO 法人ここ掘れ和ん話ん探検隊
ハイジアパーク南陽

バスにて黒沢峠に移動し、その間アルカディア街道についてレクチャー。黒沢峠到着後散策とお祭り広場にて黒沢峠敷石道保存会との交流会。

宇津峠に移動し、宇津峠の上り口散策。手ノ子公民館にて食事体験。当時食べたであろう食事を試食。その後、英文を投影しながら「日本奥地紀行」の朗読があり、通訳を介して宇津峠の解説を行った。



■ 事業の成果及び今後の展望

県内でも訪れることが少ない場所であるが、外国人が喜んでくれた。食事に関して、イスラム教の学生が参加したため、「ハラール」の対応が問題となった。しかし、できる限りのことをした結果、「感謝の言葉」があり、「おもてなしとは・・・」を関係者は実感した。

地元からは、「餅つき体験や食材の手配」「60名程度のイベントの実施の手ごたえ」「外国人にも喜んでもらえるという実感」「食事の多様性」「地元で英語の案内人の必要性」「簡潔な説明」などについてよい体験をしたとの意見をもらった。

また、外国の方から大変楽しんでもらい、ハラールの対応について感謝された。

この事業で「やまがたの良さ」を外国人にもわかってもらえることを再認識できた。そして、「やまがたの良さ」が現在まで受け継がれていることを実感した。しかし、現地までのアクセスの問題。標識がない。少子高齢化に伴う伝承・保存が危機的状況にあることが浮き彫りになった。

■ 当倶楽部について

活動状況などはホームページに掲載しています。 <http://arcadiaroadibclub.jimdo.com/>